

日本雪氷学会北海道支部研究発表会講演要旨

北海道支部研究発表会が、昭和56年9月1日、札幌市教育文化会館で開催された。全部で9編の講演発表が行われ、そのうちの一編は、昭和56年8月より北海道大学低温科学研究所に2年間の予定で滞在中の、中国科学院蘭州氷河凍土研究所の黄茂桓氏による特別講演であった。

この研究発表会は、約70名の参加者を得、活発な討論がおこなわれ、盛会のうちに終了した。このような研究発表会は、昭和57年度より、毎年6月頃に時期を変更して、開催してゆく予定である。

* * * * *

日 時 昭和56年9月1日(火) 10:00~15:30

場 所 札幌市教育文化会館 3階大研修室

プログラム

午前の部 10:00~12:00 座長 小 島 賢 治(北大低温研)

1. 第21次南極観測隊気水圏観測の概報 15
小 林 俊 一 ・ 石 川 信 敬(北大低温研)
大 畑 哲 夫 ・ 川 口 貞 男(国立極地研)
2. 電線着雪付着力測定に関する一方法 16
浅 井 修 一 ・ 小 林 裕 一(北電技研)
若 浜 五 郎(北大低温研)
3. 建築物設計用雪荷重について 17
柴 田 拓 二(北大工学部)
4. 湿雪氷化による路面不規則凹凸が橋梁に及ぼす走行荷重応答 18
能 町 純 雄(北大工学部)
5. 石狩平野における積雪分布の特性 19
油 川 英 明(北大低温研)

午後の部 13:30~ 座長 若 浜 五 郎(北大低温研)

6. 特別講演 中国における氷河の温度
黄 茂 桓(中国科学院蘭州氷河凍土研究所)
7. 厚岸地方における成長期の海霧とイチイおよびトドマツの天然更新との関係について 20
斎 藤 新一郎(道立林業試験所)
8. 十勝地方の農地の土壌凍結分布について 21
土 谷 富士夫(帯広畜産大農業工学科)
9. 大型垂直風洞による人工降雪実験(序報) 22
札幌市青少年科学館建設準備室降雪担当グループ
(代表 高 橋 庸 哉)
成 瀬 廉 二 ・ 古 川 義 純(北大低温研)
遠 藤 辰 雄(北大理学部)